

平成 25 年 10 月 24 日
筑 波 大 学

地域医療連携プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命」 及び「世界糖尿病デー^{*}イベント2013～みんなで知って、みんなで予防」開催について

地域医療連携プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命」について

潜在患者も含めたわが国の糖尿病人口は1000万人を超えており、その対策は急務となっています。初期には自覚症状に乏しい糖尿病の早期発見のためには血液検査が特に重要です。糖尿病やメタボリックシンドロームの激増を受けて2008年から特定健診制度が始まり、全保険者に40歳以上の被保険者の健診実施が義務化されました。しかしながら健診受診率は40数パーセントに留まっており、しかも40代など比較的若年層の健診受診率はさらにその半分以下です。

このような中、比較的最近、技術革新により登場してきた微量血液検査装置を活用し、糖尿病の早期発見につながる簡易糖尿病スクリーニングを、薬局-医療機関間の地域医療連携として行っているのが「糖尿病診断アクセス革命」という社会実験プロジェクトです。本プロジェクトでは、指先の自己穿刺により得られる、ごく微量(1 μ l)の血液からHbA1cを測定し、糖尿病予備群相当以上であれば連携医療機関に紹介しています。HbA1cとは、赤血球中のHb(ヘモグロビン)に糖分がどのくらい付着しているかを見たもので、過去1-2ヶ月の平均血糖値を反映する検査項目です。

本取り組みでは、街の薬局店頭に、最新の医療機器である「指先HbA1c測定装置」を設置し、糖尿病や予備群の早期発見のためのスクリーニング検査の機会を提供すること、さらに、異常値が出た場合には連携医療機関へ受診勧奨を行うことにより、未治療・未発見の糖尿病や糖尿病予備群の方々をすくい上げ、最終的には日本の糖尿病を減らすことを目指しています。

2010年10月～2013年9月の3年間にわたり、東京都足立区および徳島県において、それぞれ10件の薬局で、2600名を超える来店者に対してHbA1c値の測定を行いました。その結果、被験者の3割近くが、糖尿病またはその予備軍であると疑われることがわかりました。(詳細は別紙報告書を参照)

【プロジェクト結果のポイント】

1. 2010年10月～2013年9月の3年間に「糖尿病診断アクセス革命」プロジェクト参加薬局(東京都足立区10薬局、徳島県10薬局)で指先HbA1c検査を受けた人は2665名(糖尿病治療中の人は対象外)に達しました。
2. 2665名のうち、糖尿病が強く疑われた人(HbA1c(NGSP):6.5以上)は約12%、糖尿病予備群と疑われた人(HbA1c(NGSP):6.0～6.4)は約16%。併せて3割近くの人が医療機関への受診勧奨となりました。
3. 薬局と医療機関との地域医療連携による糖尿病早期発見・受診勧奨システムの有用性が示されました。

「世界糖尿病デーイベント 2013～みんなで知って、みんなで予防」開催のご案内

筑波大学附属病院では、「世界糖尿病デー」(11月14日)にあたり、糖尿病の予防・治療・療養を喚起するための啓発イベントを下記の通り開催いたします。当日は、血糖値・HbA1c 値測定や体力測定などの体験コーナーや、糖尿病治療の最新情報に関する展示の他、医師・管理栄養士・理学療法士などによる相談コーナーを設ける予定です。

世界糖尿病デーに関連したイベントは世界中で開催されますが、このような参加体験型の啓発活動は、本イベントが茨城県内では唯一のものとなります。

記

日 時： 2013年11月14日(木) 13:00～16:00

会 場： 筑波大学附属病院 けやき棟 1階 「けやきプラザ」

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

(<http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/general/access.html>)

* 参加費無料・予約不要

* 詳細は添付のチラシをご参照ください。筑波大学ホームページ(イベント一覧)よりダウンロードもできます。

※世界糖尿病デーについて

拡大を続ける糖尿病の脅威を踏まえ、2006年12月20日、国連は国連総会議で、国際糖尿病連合(IDF)が要請してきた「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を加盟192カ国の全会一致で可決しました。同時に、従来、IDFならびに世界保健機関(WHO)が定めていた11月14日を「世界糖尿病デー」として指定しました。

この日を中心に、世界各地で糖尿病に関する啓発活動や、糖尿病撲滅のシンボルカラーである青を基調としたライトアップや講演会などのイベントが多数開催されており、筑波大学附属病院でも、毎年、啓発イベントを実施しています。

なお11月14日は、糖尿病と深い関係のあるインスリンの発見者でノーベル生理学医学賞受賞者のフレデリック・バンティング(Frederick Banting)博士の誕生日にちなんでいます。

問合わせ先

矢作 直也 (やはぎ なおや)

筑波大学医学医療系 准教授

平成25年10月24日

筑波大学
糖尿病診断アクセス革命事務局

糖尿病早期発見のための地域医療連携プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命」 3年間の実績報告書

要旨

1. 2010年10月～2013年9月の3年間に「糖尿病診断アクセス革命」プロジェクト参加薬局(東京都足立区10薬局、徳島県10薬局)で指先HbA1c検査を受けた人は2665名(糖尿病治療中の人は対象外)に達しました。
2. 2665名のうち、糖尿病が強く疑われた人(HbA1c(NGSP):6.5以上)は約12%、糖尿病予備群と疑われた人(HbA1c(NGSP):6.0～6.4)は約16%。併せて3割近くの人が医療機関への受診勧奨となりました。
3. 薬局と医療機関との地域医療連携による糖尿病早期発見・受診勧奨システムの有用性が示されました。

背景・目的

潜在患者も含めたわが国の糖尿病人口は1000万人を超えており、その対策は急務となっています。初期には自覚症状に乏しい糖尿病の早期発見のためには血液検査が特に重要です。糖尿病やメタボリックシンドロームの激増を受けて2008年から特定健診制度が始まり、全保険者に40歳以上の被保険者の健診実施が義務化されました。しかしながら健診受診率は40数パーセントに留まっており、しかも40代など比較的若年層の健診受診率はさらにその半分以下です。

このような中、比較的最近、技術革新により登場してきた微量血液検査装置を活用し、糖尿病の早期発見につながる簡易糖尿病スクリーニングを、薬局-医療機関間の地域医療連携として行っているのが「糖尿病診断アクセス革命」という社会実験プロジェクトです。本プロジェクトでは、指先の自己穿刺により得られる、ごく微量(1 μ l)の血液からHbA1cを測定し、糖尿病予備群相当以上であれば連携医療機関に紹介しています。HbA1cとは、赤血球中のHb(ヘモグロビン)に糖分がどのくらい付着しているかを見たもので、過去1-2ヶ月の平均血糖値を反映する検査項目です。

本取り組みでは、街の薬局店頭に、最新の医療機器である「指先HbA1c測定装置」を設置し、糖尿病や予備群の早期発見のためのスクリーニング検査の機会を提供すること、さらに、異常値が出た場合には連携医療機関へ受診勧奨を行うことにより、未治療・未発見の糖尿病や糖尿病予備群の方々をすくい上げ、最終的には日本の糖尿病を減らすことを目指しています。

方法

(1) プロジェクト参加薬局の来局者のうち、糖尿病治療中の人を除く成人希望者に、本研究についての説明と同意の上、自己穿刺採血によるHbA1c測定を実施します。

(2) 異常高値の場合には連携医療機関への受診勧奨を行い、早期治療へと導いて行きます。

結果

2013年9月現在の主要な研究成果は以下の通りです：

■2010年10月～2013年9月の3年間に「糖尿病診断アクセス革命」プロジェクト参加薬局(東京都足立区10薬局、徳島県10薬局)で指先HbA1c検査を受けた人は総計2665名(東京都足立区1616名、徳島県名；男性1191名、女性1474名；糖尿病治療中の人是对象外)に達しました。

■2665名のうち、糖尿病が強く疑われた人(HbA1c(NGSP)：6.5以上)は約12%(308人)、糖尿病予備群と疑われた人(HbA1c(NGSP)：6.0～6.4)は約16%(430人)で、併せて3割近くに対し、糖尿病またはその予備群の疑いで医療機関へ受診勧奨を行いました。

■2665名のうち、43%の人は定期的な健康診断を受けておらず、「糖尿病診断アクセス革命」の提供する「新たなスクリーニング検査の場」が生かされました。

■男女別、地域別に見た結果は下記のとおりです：

予備群以上 (糖尿病相当)	男性	女性
東京都足立区	32.6% (17.3%)	24.1% (10.1%)
徳島県	31.4% (11.8%)	24.1% (6.4%)

考察と今後の展望

本プロジェクトの成果により、薬局と医療機関との地域医療連携による糖尿病早期発見・受診勧奨システムの有用性が示されました。

今後への課題としては、このような活動を展開するに際し、保健所の許可を得られるかどうか地域ごとにまちまちであった点に関し、現在、内閣府の規制改革会議ならびに産業競争力会議と厚生労働省との間で規制緩和について検討がなされています。(参考資料：「規制改革ホットラインの処理状況」

<http://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kaigi/meeting/2013/committee/130605/item2.pdf#page=32>)

補足資料

プロジェクト参加薬局リスト（2013年10月24日現在）

1) 東京都足立区

店舗名	所在地	電話番号
西沢薬局	東京都足立区中川 4-1-1	03-3605-0994
あやせ薬局本店	東京都足立区綾瀬 1-39-12	03-3690-4193
飯島仁生堂薬局	東京都足立区千住 1-19-8	03-3881-2273
千住桜木薬局	東京都足立区千住桜木 2-11-7	03-3870-9871
そうごう薬局 五反野店	東京都足立区足立 4-37-9-102	03-3840-0139
梅田調剤薬局	東京都足立区梅田 2-14-14	03-3840-4520
関原すばる薬局	東京都足立区関原 2-39-3	03-3880-3360
あさがお薬局	東京都足立区本木南町 27-4-1F	03-5845-4131
水野薬局	東京都足立区西新井栄町 3-8-5	03-3886-1487
エール薬局 西新井店	東京都足立区西新井 6-31-13	03-3855-7340

2) 徳島県

店舗名	所在地	電話番号
おおうえ薬局	徳島市西須賀町中開 45-2	088-669-1676
三愛薬局本店	徳島市元町 2 丁目 12 番地	088-622-7118
三谷薬局	徳島市幸町 3 丁目 37 番地	088-652-8421
スマイル調剤薬局山城店	徳島市山城町西浜傍示 184	088-679-7115
スマイル調剤薬局国府店	徳島市国府町井戸字左ヶ池 14-3	088-643-2221
ミマ薬局	徳島市国府町府中 241-17	088-642-7566
ツツキ調剤薬局田浦店	小松島市田浦町字近里 81 番地	0885-35-0717
柴田調剤薬局	板野郡板野町大寺字大向北 99-3	088-672-5530
サンコー調剤薬局羅漢店	板野郡板野町羅漢字前田 58 番 1	088-672-7200
サンコー和漢薬局	美馬市脇町大字脇町 714 番地 1	0883-53-2375

用語解説

1) 糖尿病診断アクセス革命とは

糖尿病診断アクセス革命（<http://alc.umin.jp>）は、「指先微量採血によるHbA1c測定」を用いて血液検査へのハードルを下げ、広く検査の機会を提供することで、未発見・未治療の糖尿病の患者さんや糖尿病予備群の方々をすくい上げ、最終的にはわが国の糖尿病を減らすことをめざす地域医療連携プロジェクトです。筑波大学と糖尿病診断アクセス革命事務局を中心に、東京都足立区においては、NPO法人ADMS・足立区薬剤師会・足立区医師会、徳島県においては徳島文理大学との共同研究として行われています。

2) HbA1c (ヘモグロビンエーワンシー) とは

HbA1c とは、赤血球中の Hb (ヘモグロビン) に糖分がどのくらい付着しているかを見る検査で、過去 1-2 ヶ月の平均血糖値を反映する検査項目です。HbA1c 値 6.5% 以上では糖尿病が疑われ、6.0-6.4% では糖尿病予備群と疑われます。

みんなで知って、
みんなで予防

世界糖尿病デー 2013

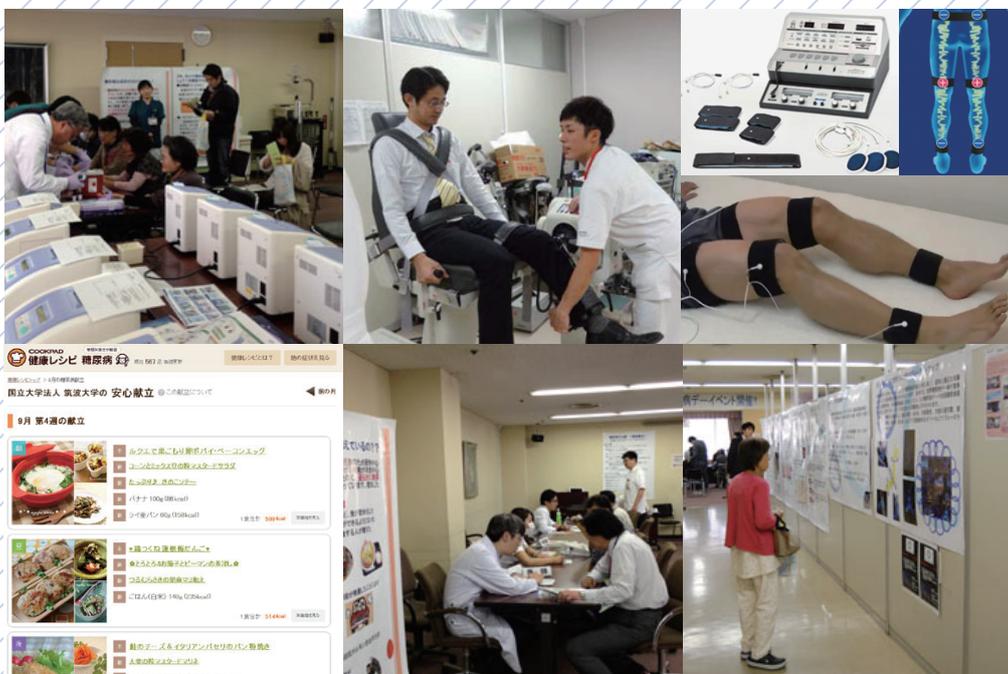
11/14

Thu

はWHO(世界保健機関)が定めた世界糖尿病デー

この日を中心に日本国内のみならず世界各地で、糖尿病の予防・治療・療養を喚起する啓発キャンペーンや糖尿病撲滅のシンボルカラーである青を基調としたライトアップが多数開催されます。筑波大学附属病院でも毎年、糖尿病に関する啓発イベントを行っています。

誰もが糖尿病になりうる時代。糖尿病を「自分事」として体感していただけるよう
血糖値測定や栄養相談などのさまざまなコーナーを用意してお待ちしています!!



日時:

2013年11月14日(木)
13:00~16:00

場所:

筑波大学附属病院
けやき棟1階「けやきプラザ」
茨城県つくば市天久保2-1-1
(アクセス: www.hosp.tsukuba.ac.jp/general/access.html)

参加費無料
予約不要

お問い合わせ:

筑波大学附属病院 内分泌代謝・糖尿病内科
TEL: 029-853-3053

イベント内容一覧

●血糖値・HbA1c値測定(先着100名予定)

指先穿刺による微量採血により、血糖値とHbA1c値(過去1-2ヶ月の平均血糖値を知る検査指標)を最新の医療機器を用いてその場で高精度に測定します。



●体組成測定

体組成計により脂肪量や筋肉量を測定します。

●体力・バランス測定

様々な部位の筋力とバランス感覚を測定します。



●レジスタンス運動インストラクション

体力レベルに合わせたレジスタンス運動を専門のインストラクターがお教えます。

●電氣的筋肉刺激(EMS)体験

大腿部の筋肉を電氣的に刺激する最新の装置を体験できます。



●栄養相談コーナー

栄養士による栄養相談コーナーです。フードモデルなどを使いながらわかりやすくご説明します。

●COOKPADの安心献立

今年6月にクックパッド(インターネットで見る料理レシピサイト)上にオープンした「筑波大学の安心献立」をご紹介します。

<https://kenko.cookpad.com/tounyou/menus>



●薬の解説コーナー

糖尿病の治療薬は近年、飛躍的にバリエーションが増え、作用機序的にも様々な種類のものを組み合わせて用いることが増えてきました。当コーナーでは新薬に焦点を当てつつ、糖尿病薬の全体像をわかりやすくご説明します。

●総合相談コーナー

医師や看護師がご質問などにお答えします。日頃聞けない疑問などもぜひここで解消しましょう。



●その他各種展示

11年ぶりに7訂に改訂された糖尿病食品交換表の概要や、最近話題の糖質制限食についてなど、盛りだくさんの展示物をご覧ください。